

みて! よんで! いっ?

ぎかいのひろば

言葉を通じて
ココロをつなぐ



地域支え合いセンター
生活支援相談員のみなさん

★地震被災者の安心を支える

突撃インタビュー・地域支え合いセンター … P2～3

★補正予算に「待った!」

修正動議を可決 … P4

★町政を問う!

一般質問・6氏が登壇 … P8～14

トピック

志賀町議会



突撃

インタビュー



「地震被災者の安心を支える―被災者見守り・相談支援事業の現場から」

令和6年1月1日に発生した能登半島地震から2年が経過しました。この間、町では被災者の心身の健康維持や地域の孤立防止を目的とした「被災者見守り・相談支援事業」を実施しており、その業務は、町が社会福祉協議会に委託している「志賀町地域支え合いセンター」が担っています。今回は、センターで活動されている生活支援相談員の方に、現在の取り組み状況や直面している課題についてお話を伺いました。

Q 地域支え合いセンターの主な業務を教えてください。

A 仮設住宅や在宅で生活されている被災者の方々を対象に、定期的な訪問や、電話連絡を通じた見守り活動を行っています。生活状況や体調の変化、不安や困りごとを丁寧に聞き取り、必要に応じて町の担当課や医療・福祉関係機関につなぐなど、健康面・生活面を含めた総合的な支援を行っています。

Q 何名で対応されていますか。

A 主任生活支援相談員2名と、生活支援相談員10名で対応しています。

県で、仮設住宅50人につき1人とか、半壊世帯が300

世帯につき1

人などの人員配置基準が決

められています。志賀町は

基準より少ない状況です。



会話で「安心」を届けます



大切なのは「信頼関係」

「ひとりぼっちにしない」関わりを

Q 活動の中で工夫していることは何でしょうか。

A 回数を重ねることで「あなたを気にかけている人がいる」ということが伝わるよう、定期的な訪問や電話連絡を続けています。

仮設住宅にお住まいの方だけでなく、在宅の方でも心のダメージが大きい方もいますので、チーム内で情報交換して、訪問回数を増やしたりもしています。「心配していますよ」という気持ちを言葉にして伝え、一人で抱え込まない関係づくりを意識しています。



見守りの輪を広げる

Q みなさんのストレス解消法は、何ですか。

A 訪問した後に、情報をみんなで共有することで、その日のうちに問題を解決していることが何よりいいかなと思います。

「ありがとう」で救われる

Q 被災者の声で印象に残っていることはありますか。

A 「誰かが気にかけてくれるだけで安心する」「話を聞いてくれる場所があるのがありがたい」という言葉が印象に残っています。
一方で、「この先の生活がどうなるのか、わからない」「被害区分による支援の差に戸惑っている」という声も多く聞かれます。こうした声は、制度への不満というよりも、将来の不安や孤立感の表れであると感じています。
センターではその思いを受け止めながら、必要な支援につなげたいと思います。

Q 今後の課題について教えてください。

A 復興公営住宅が建設され、将来的に入居が進む中で、「新しい暮らしの中でのつながり（「コミュニティ」）をどう作っていくか」が課題です。
新しい住まいでは、行政が形を決めるのではなく、住民自身が「どのような生活を送りたいか」を考え、住みやすい環境をつくっていくことが重要だと考えています。

一人ひとりが

新たな生活を思い描けるように

言葉のひとつひとつに、
相手を感じる気持ちを込めて対応しています。



左上から 村本さん、飯山さん、菅原さん、町中さん、瀬戸さん、藤田さん、河原さん、内田さん、中門さん

「突撃インタビュー」を終えて...

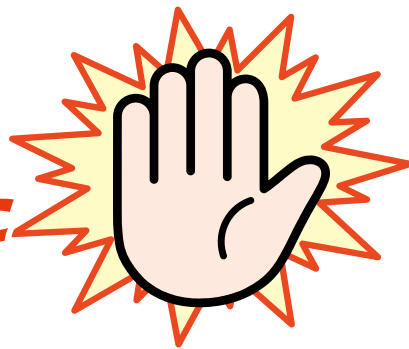
被災者の方々が安心感を得られるのは、支援員の皆様の明るい笑顔と心に寄り添う言葉があるからなのだろうと感じました。

困難な状況の中で、その温かさがどれほど力になるか計り知れません。

「誰かがやらなければ」という強い思いのもと、皆様が一生懸命に活動されていることに心から感謝と敬意を表します。

(議会広報特別委員会)

一般会計補正予算 (第7号) に、**待った**



議員が修正動議を提出

今定例会に提出された一般会計補正予算案のうち、「こどもの遊び場整備事業」(富来支所町民ホールに設置を予定していた、屋内遊具設置工事請負費)として計上された4,000万円に関して、事業費の削除を求める修正案が提出されました。

修正案は賛成多数で**可決**されました。

12月定例会は、12月2日から同月16日までの15日間の会期で開かれ、一般会計や各会計の補正予算をはじめ、条例の制定及び改正に係る議案、工事請負契約の締結、工事請負契約に係る議決の一部変更の議案や人事案件に係る諮問など、合わせて30件を審議しました。(※議決結果はp67参照)

審議が不十分

南 正紀 議員

【修正動議の要旨】

議案第79号 一般会計補正予算(第7号)中の「こどもの遊び場整備事業」に関して、富来支所町民ホールへの設置計画に、多くの議員から疑問や異論が出された。

特に、景観や採光、町民の憩いの場としての適否が問題視されたが、十分な審議が尽くされず、議員意見が軽視されたと感じており、この事業を除外した修正予算案の提出と、今後の丁寧な議論を求める。



南 正紀 議員

※修正動議とは…町長から提出された議案(条例案や予算案など)に対して、議員が内容の一部の修正を提案すること。



提案理由説明動画は
こちらから

修正動議に賛成

利用者の思いを
反映したものとは言えない

小林 克嘉 議員

【賛成討論の要旨】

本事業は、総額4千万円を投じ、富来支所町民ホールに屋内遊具を設置するものだが、執行部の説明は「リクエストが多かったため、設置可能な場所に早く提供したい」という理由にとどまり、賑わいの創出や将来的な戦略性は目的としていない。

これでは町民の期待や利用者の思いを十分に反映したものとは言えず、到底認められるものではない。



小林 克嘉 議員

予算決算 常任委員会

遊具設置計画を問う

質疑

こどもの遊び場整備事業の詳細を聞く。

答弁

町民アンケートで、「LAKUNAはいい」のような施設の要望も多くあり、富来支所の町民ホールに木質の遊具を設置するものである。

質疑

遊具設置後の展開を聞く。
避難拠点施設と機能が分散しないのか。

答弁

避難拠点施設は普段使いを想定しているが、大規模な遊具は置けない。

富来活性化センターは、支所、図書館、銀行と、ある程度集約できていると考える。

商業施設内なども検討したが、賃料やスペース確保の問題で難しく、現在の場所が最適であるとの考えに至った。

質疑

子どもと大人を分離できるのか。大人の憩いの場としての機能は保てるのか。

答弁

分離ではなく共存を目指すイメージだが、必要であれば、町民ホールの機能の代替場所の確保に努める。

令和7年度補正予算を可決

会 計 名		補 正 額	予 算 額	
一般会計（第 7 号）		9億5 4 2 2万円	5 3 9億7 6 8 1万円	
特別・企業会計	国 民 健 康 保 険		8 8万円	2 5億3 8 9 1万円
	後 期 高 齡 者 医 療		1 7 6万円	4 億6 9 6 2万円
	介 護 保 険		8 0 7 2万円	3 2億2 0 5 4万円
	診 療 所 事 業		4 2 6万円	1 億9 9 5 0万円
	水 道	収益的支出	3 7万円	6 億 7 2 9万円
		資本的支出	9万円	1 8億9 5 4 3万円
	下 水 道	収益的支出	4 7万円	1 1 億4 5 9 2万円
		資本的支出	4 6万円	3 8億4 5 0 5万円
	病 院	収益的收入	1 1 8 0万円	1 4 億3 8 3 1万円
		収益の支出	2 7 2 0万円	1 5 億3 2 1 7万円
資本的收入		9 5 8 0万円	3 億9 7 4 8万円	

<一般会計 主な補正理由>

（歳入）

- ・農地農業用施設災害復旧に係る県補助金の増額
- ・県復興基金交付金の増額

（歳出）

- ・人事院勧告に伴う職員給与費の増額
- ・県受託事務委託料及び工事請負費、地域コミュニティ施設等再建支援事業に要する経費の増額

※各項目の予算額は万円未満を四捨五入しています。

賛成

反対

議案に対する 討論

討論とは、議案や請願に対し、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べて他の議員に賛同を求めるものです。

議案第87号

反対 「新たな条例制定は必要ない」

中谷 松助 議員

本町では既に一時預かり事業として、保護者の育児負担軽減や孤立防止を行っており、新たな営業創設のための条例の制定は必要ない。

議案第88号

反対 「運用を拡大することは、看過できない」

中谷 松助 議員

マイナンバーカードをめぐる誤登録などの問題が相次ぎ、制度への信頼は失墜している。安全管理措置への懸念が深まる中で、運用を拡大することは、看過できない。

議案第96号・議案第97号

反対 「物価高騰の中、町民の理解は得られない」

中谷 松助 議員

人事院勧告に準じた条例改正だが、今時の物価高騰対策への太い柱が何もない状況で、町長はじめ特別職、議員のボーナスアップは町民の理解を得られない。

請願第6号

賛成 「生活再建に必要な制度」

中谷 松助 議員

診療中断による重症化、災害関連死増加につながりかねず、仮設住宅から復興住宅への移行に伴い、家賃等の負担増で医療から遠ざかる被災者が増えることが危惧される。医療費の免除は、被災された方々が生活再建するうえで、必要な制度である。

賛成 「社会保障制度の支援が不可欠」

林 一夫 議員

住宅を失った人や、高齢で体力や健康に不安を抱える被災者も多い。経済的な負担増加は受診控えにもつながり、各種の健康を損ねる状況を招きかねない。早期に免除制度を再開し、国へ財政支援を要望すべき。

賛成 「住民からの復活要望も多い」

南 正紀 議員

制度は被災者の生活再建支援を目的とした一時的措置であることや準半壊・一部損壊を除外していたため、不公平感もあった。本来的には広く被災者を救済する新制度を創設すべきだが、それには時間と労力がかかるため、旧制度復活が速攻性があり、住民からの復活要望も多い。

12月定例会



委員長報告
採決

議決結果

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 89～94	議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例～病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例… 所要の改正	可決 賛11 反0
陳情 8	ひきこもり基本法制定についての陳情書… ひきこもりの現状を踏まえ、適切な支援を行っていくために「ひきこもり基本法」の制定を求める。 提出者：特定非営利活動法人はあとびあ21 理事長 高和 正純 氏	採択 賛11 反0
請願 6	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願… 国民健康保険および後期高齢者医療制度において、令和6年能登半島地震の被災者に対する医療費の一部負担金の免除を再開させるため、国からのさらなる財政支援を求める。 提出者：石川県保険医協会 会長 三宅 靖 氏 紹介議員：林 一夫 議員	採択 賛11 反0
発委 3	ひきこもり基本法の制定を求める意見書… 陳情第8号の採択を受け、意見書を国に提出。	可決 賛11 反0
発委 4	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める意見書… 請願第6号の採択を受け、意見書を国に提出。	可決 賛11 反0
議案 95・98	一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例、一般職の給与に関する条例の一部を改正する条例… 人事院勧告に準じ、所要の改正。	可決 賛11 反0
議案 96	議会議員等の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例… 人事院勧告に準じ、所要の改正。	可決 賛10 反1
議案 97	常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例… 人事院勧告に準じ、所要の改正。	可決 賛10 反1
議案 99・100	工事請負契約の締結「町道第570号土田幹線外道路災害復旧工事1工区、工事請負契約の締結」町道第827号大島福野連絡線外道路災害復旧工事… 災害復旧工事に係る契約	可決 賛11 反0
議案 101～103	「工事請負契約の締結」の議決の一部変更「町道第5095号草江中央線外道路災害復旧工事～「専決処分の承認（工事請負契約の締結）」の議決の一部変更… 災害復旧工事に係る契約内容の変更	可決 賛11 反0
諮問 6・7	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるもの… 人権擁護委員の任期満了に伴う推薦で、福田豊治氏（再任）、金森睦子氏（新任）の答申を求めるもの。	適任 賛11 反0

<賛否が分かれた議案>

○は賛成、×は反対（議長は採決に加わりません）

議案番号	小林	梢	表谷	中谷	福田	南	寺井	堂下	越後	富澤	櫻井	林
議案第79号 (修正部分)	○	○	○	×	—	○	○	×	×	○	○	○
議案第87号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第88号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	○	○	○	×	—	○	○	○	○	○	○	○

3 回 臨 時 会臨時会映像は
コチラから**議 決 結 果**

※議長は採決に加わりません。

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
議案 71	令和7年度一般会計補正予算（第5号） … 歳入では、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金、財政調整基金繰入金を増額。歳出では、定額減税不足額給付金、復興公営住宅建設（志賀地域）に係る用地取得費を増額。 補正額：6989万円 予算額：530億2260万円	可決 賛11 反0
議案 72	工事請負契約の締結「道の駅とき海街道周辺再整備事業多目的広場整備工事(土木)」 … 契約金額：1億1102万3000円 契約の相手方：南建設株式会社	可決 賛11 反0
議案 73	工事請負契約の締結「道の駅とき海街道周辺再整備事業多目的広場整備工事(建築)」 … 契約金額：6083万円 契約の相手方：南建設株式会社	可決 賛11 反0
議案 74～78	工事請負契約の締結～「工事請負契約の締結」議決の一部変更 … 災害復旧工事に係る契約	可決 賛11 反0

12 月 定 例 会

議案番号	議案名と主な内容（議案名は一部省略してあります）	議決結果
承認 35	専決処分の承認（令和7年度一般会計補正予算（第6号）） … 富来地域避難拠点施設整備事業及び富来義務教育学校整備事業に係る基本・実施設計業務を行うにあたり、債務負担行為を設定 ・富来地域避難拠点施設整備事業（基本・実施設計業務委託） 期間：令和8年度 限度額：9851万6000円 ・富来義務教育学校整備事業（基本・実施設計業務委託） 期間：令和8年度 限度額：1億2684万3000円	承認 賛11 反0
承認 36	専決処分の承認（工事請負契約の締結） … 富来中学校学校施設災害復旧工事 契約金額：1億8535万円 契約の相手方：石田工業株式会社	承認 賛11 反0
承認 37	専決処分の承認（工事請負契約の締結） … 熊野交流センター震災復旧工事 契約金額：4972万円 契約の相手方：寺井建設株式会社	承認 賛11 反0
議案 79	令和7年度一般会計補正予算（第7号） … 4・5ページ参照	修正可決 〔修正部分〕 賛8 反3 〔修正を除く部分〕 賛11 反0
議案 80～86	令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）～令和7年度町立富来病院事業会計補正予算（第1号） … 5ページ参照	可決 賛11 反0
議案 87	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例 … 保育所、認定こども園等に通っていない乳児又は児童を対象として、月一定時間までの範囲で柔軟に利用できる乳児等通園支援事業が創設されたことに伴い、新たに条例を制定。	可決 賛10 反1
議案 88	行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 … 住民登録外者の登録・管理を行う「住登外者宛名番号管理機能」が共通機能として実装されることとなり、マイナンバーの独自利用を行う事務等として定める必要があるため、所要の改正。	可決 賛10 反1



南 正紀



小林 克嘉



中谷 松助



林 一夫



堂下 健一



梢 正美

6氏が登壇 町政を問う!

一般質問とは

議員が町政一般について、報告や説明を求め、質問することを行います。

1人あたりの持ち時間は答弁を含めて概ね40分です。

PAGE

9

南 正紀 議員

- 1 富来義務教育学校について
- 2 原子力防災訓練について
- 3 地域猫対策について

PAGE

10

小林 克嘉 議員

- 1 人口施策の変化について
- 2 人口減少と財政課題について
- 3 自主財源確保について
- 4 町民の声の反映について
- 5 子育て世代への先行投資と総合的な町づくりについて

PAGE

11

中谷 松助 議員

- 1 保育園給食の完全無償化を
- 2 移動販売車車検補助制度の創設を
- 3 「飼い主のいない猫」の避妊去勢手術助成を
- 4 町公共施設等にさらなる手すりの増設を
- 5 道路上の白線引きを重視されたい
- 6 一刻も早い原発から再エネへの切り替えを強く求めよ

PAGE

12

林 一夫 議員

- 1 本町役場の技術系職員数の現況と将来見通しを問う
- 2 本町独自の外国人労働者の受け入れ態勢を構築せよ
- 3 多面的機能支払交付金制度の活用状況と活性化策について

PAGE

13

堂下 健一 議員

- 1 道路・河川の復旧状況と今後の工事予定について聞く
- 2 図書館の利用と健康寿命について
- 3 避難所のトイレ問題について
- 4 原子力防災訓練について

PAGE

14

梢 正美 議員

- 1 富来義務教育学校建設における住民参加プロセスとハード設計への意見反映を求める
- 2 視察で得た知見を活かした志賀町の持続可能な自治運営の推進について



一般質問を終えての議員の感想です。



みなみ まさのり 議員



動画はコチラから

山村留学・スポーツ留学の導入を

準備委員会を設置し、検討する

教育長

南

今回建設が予定されている富来義務教育学校は、小規模校かつ小中一貫校である。

他校に負けないという強みを持つ学校運営を求めるとともに、学校が将来にわたり活気ある学校として存続できる一助として、山村留学やスポーツ留学を取り入れられないか。

教育長

富来義務教育学校の基本計画に「安全・安心で快適に学べる学校」「9年間を通じた深い学び」「多様な交流と絆の育成」「富来地域の資源を活かす教育」「地域課題に対応できる持続可能な学校」の5つの目標を掲げ、地域実情に即した魅力ある学校づくりを進める。

今後は学校関係者・PTA・関係機関による準備委員会を設置し、実例を踏まえて検討していく。

地域猫対策に支援を

一部助成を検討 町長



責任ある飼い方が求められる

南

飼い主のいない猫（いわゆる野良猫）が全国の多くの自治体で問題となっている。繁殖増加といった状況を受けて、最も重要と言えるものは、不妊去勢手術である。

現在は動物基金が活用されているが十分でなく、多くの活動が実費で行われている。

震災以降、地域力が低下しており、今後の継続には行政の補助や啓発が必要であるため、前向きな取り組みを求める。

町長

震災後の地域力の低下などを踏まえ、地域猫活動を行う個人や団体に対し、来年度から、飼い主のいない猫に限り、避妊・去勢手術費用の一部助成を検討している。

飼い主へは、責任ある飼い方への啓発活動を継続する。



住民の意見に寄与する大きな手ごたえがある質問となりました。

その他の質問

南

原子力防災訓練実施での、町長の所感を問う。

町長

他自治体を対象に実施された迂回路を利用した避難について県と協議していくとともに、避難経路の多重化・強化についても国や県に対し引き続き要望していく。

子育て世代に先行投資を ニーズを的確に把握する

町長



多額のふるさと納税を
利用した境町の取り組み



動画はコチラから



こばやし かつよし 議員
小林 克嘉

小林 議会視察で得た茨城県境町の子育て世代支援策（長期居住で住居無償提供、英語教育の充実、交通費助成、スポーツ推進等）は参考になる施策であった。

これらが先行投資となり、税収や人口増加に繋がっている。本町でも子育て世代に焦点を当てた支援策を検討し、移住・定住促進に一石を投じるべきではないか。

町長 子育て世代の移住・定住促進は、人口減少策と地域経済活性化を両立するうえで、重要な視点であると認識している。茨城県境町の取り組みは、子育て世帯の転入に大きく寄与し、人口安定や税収増につながっており、参考になる。本町でも子育て世代のニーズを的確に把握しながら施策を実施していく。

町民の声を 施策に反映せよ

町民参加型の まちづくりを進める 町長

小林 令和7年5月の町民アンケートでは「安心して住み続けたい」「子育て環境の充実」「観光資源の活用」といった意見が多く寄せられていた。これらの町民の声をどのように施策に反映するのか。

今後、町民の声を継続的に施策に取り入れるためにどのような仕組みを整備するのか。

町長 町民アンケートや「いどばたトーク」等では多様な意見が寄せられ、重要な声として受け止めている。これらは町総合計画や毎年度の事業計画に登載し、各種施策に反映している。

今後も定期的に実施するほか、ホームページやSNSでの意見募集も行っており、多くの町民が参加しやすい環境を整える。町民代表や各種団体との連携を強化し、町民参加型のまちづくりを進め、実効性の高い施策展開に努める。

議員の
ひとこと
復旧から復興へと質問
が変わってきています。
町の未来を考え、もつ
と議論していきます！

その他の質問

小林 第3次総合計画での交流人口拡大への取り組みを聞く。

企画財政課長

短期的な交流から関係人口を生み出し、人口減少の抑制と復興に向けた町の活性化につなげ、持続可能な地域づくりを実現していく。

小林 町の財政課題の改善策を聞く。

企画財政課長

中長期財政計画に基づき、企業誘致の推進による税収の増加や、財政健全化に向けた取り組みを着実に進め、復興に向けた町の活性化と持続可能な行政運営を推進する。

小林 自主財源の確保としてふるさと納税は重要な手段と考えるが、町の事業展開を聞く。

企画財政課長

本町の特色ある返礼品の魅力向上や品質向上、付加価値の高い商品開発を進める。

情報発信を強化し、幅広い層への効果的なプロモーションを展開する。



なかたに まつすけ
中谷 松助 議員



動画はコチラから

保育園給食の 完全無償化を

現状、導入は困難

子育て支援課長



主食ご飯は家庭から持参

中谷

現在、町内の公立保育園では、3歳から5歳児の主食であるご飯は家庭で持参し、副食のみを園で提供している。

「完全無償の給食」の導入は、家庭の負担軽減、園内の管理負担軽減、新たな雇用創出、自治体の物価高対策といった効果が期待できる。

前回の答弁では、提供体制の整備が必要で、現状では導入が困難とされたが、新年度に向けての整備を求める。

子育て支援課長

現時点で完全給食導入を進めるには、調理スペースが手狭であり、人員の確保も難しく、現状のままでは導入が困難な状況である。

完全給食の在り方については、関係者と連携しつつ、検討を進めていく。

「飼い主のいない猫」の 避妊去勢手術助成を

一部助成を検討

環境安全課長

議員の
ひとこと

子育て支援と同時に、高齢者対策も喫緊の課題だと思いました。

中谷

猫は放置されやすく、繁殖力が強くて、ふん尿被害や交通事故などのトラブルが社会問題となっている。

被災後は放置された猫の数が増加傾向にあり、対策が社会的に不可欠だ。

猫好きの個人や団体などのボランティアが自主的に繁殖抑制を進めている現状を踏まえ、本町でも手厚い助成制度を導入し、「飼い主のいない猫」の増加を抑止すべきではないか。

環境安全課長

地域猫活動を行う個人や団体にに対し、来年度から飼い主のいない猫の避妊・去勢手術費用の一部助成を検討している。

その他の質問

中谷

移動販売車車検代補助制度を創設せよ。

健康福祉課長

補助制度の創設は考えていない。

中谷

町公共施設等にさらなる手すりの増設を求める。

総務課長

現在は震災による被災施設の原形復旧工事を優先しているため、その後、計画的に進めていく。

中谷

道路上の白線引きを重視せよ。

まち整備課長

道路パトロールや、地元からの要望に基づき現況確認を行い、計画的に区画線の更新を進めていく。

中谷

一刻も早い原状から再エネへの切り替えを強く求めよ。

環境安全課長

現行の第7次エネルギー基本計画の進展などを注視して行きたい。

外国人労働者の受入れと環境整備に努めよ

受入に向けた態勢作りを構築する

商工観光課長



動画はコチラから



はやし かずお 議員

林

能登地域における人手不足は早急には解決できない課題として継続していくと思われる、応急的な対応策として、外国人労働者に頼らざるを得ない。現在、外国人労働者の日本への流入が加速しているが、本町でも受入態勢を整備せよ。

商工観光課長

町内事業者の現状や要望を調査し、県や関係機関と連携を図りながら、安定的な労働力の確保と、外国人労働者の生活支援全般に係る環境づくりを視野に、検討したい。
外国人雇用セミナーや多文化交流事業など、地域との交流を推進し、外国人労働者の受け入れに向けた態勢作りを構築する。



人手不足と高齢化で負担増

負担を軽減する 仕組みを再構築せよ

活動計画の策定支援に取り組む

農林水産課長

林

多面的機能支払い交付金活動が地域の負担になりつつある。

参加者の減少と高齢化が進んでいるためであり、機械類の導入や作業対象者・作業日の設定等にかかる負担を軽減する仕組みの再構築が必要と考える。

交付金事業への、今後の町の関りを聞く。

農林水産課長

作業の一部を業者へ委託することや、能登半島地震で被害のあった農地や農業用施設の修繕工事も、別途支援の対象となっている。事務作業を複数地域間で行う広域化や事務を外部へ委託するなどの対応策があり、本町でも一部の組織がこの方法で事務作業の軽減を図っている。
地域や活動組織への情報提供や相談対応、より地域に寄り添った活動計画の策定支援に取り組んでいく。

その他の質問

林

本町役場の技術系職員数の現況と将来見通しを問う。

町長

震災の復旧・復興の観点において、技術系職員の配置・充足は非常に重要であり、必要な職員の確保に努める。

議員の
ひとこと
時々の行政課題を
議論しましょう。

避難先を再考せよ

現時点では 現実的かつ効率的 町長



どうした けんいち 議員



動画はコチラから

堂下 今年も原子力防災訓練が実施されたが、地震前と変わらない訓練であった。昨年の地震発生時、富来地区では孤立した地区もあり、代替道路も整備されていない状況が続いている。避難先となっている能登町は甚大な被害を受けており、避難先の変更や複数の避難場所の設定が必要ではないかと考えられるが、町の考えを聞く。

町長 石川県原子力防災訓練は、地域防災計画に基づき、防災体制の確立と防災技術の向上を図ることを目的としている。

毎年実践的な訓練を積み重ね、定着させていくことが重要で、能登半島地震によって生じた課題を踏まえた訓練が実施されたと考えている。

避難は、能登町、白山市への分散避難を基本とし、現時点では最も現実的かつ効果的な方法であるが、被災等で避難の受入が困難となった場合は、改めて他自治体と受入調整を行うこととなっている。

国や県に対し、訓練の充実化と実践的な訓練の実施を要請し、職員の対応力強化にも取り組む。

議員のひとこと

今や自然災害は毎年必ず襲ってくる。そこへ原発事故との複合災害となると、想像もしたくないが。



避難先・白山市へ向かうバス(車中)

道路の復旧工事計画を聞く

令和12年度の完全復旧が目標

まち整備課長

堂下 町道が復旧完了した地区もあるが、まだ手つかずの道路が多く、河川はまだ工事着手前の箇所が多くみられる。町内の県道・町道の復旧工事が完了した割合と、今後の復旧工事計画を聞く。

まち整備課長 12月末現在、道路の復旧は約12km、全体の5.4%が完了している。

今後とも順調に進捗した場合、本年度末までに約30km、全体の13・4%の完成を見込んでいる。

準用河川は、現時点では未発注で、年内には一部を入札予定としている。

町ホームページに道路の復旧工事計画を公表しており、令和12年度の完全復旧を目標に、関係機関と連携しながら着実に復旧工事を進める。

その他の質問

堂下

積極的に図書館を利用することにより要介護リスクを低減することができるとのことだが、町の考えを聞く。

生涯学習課長

質の高い図書の提供や各種展示、大人向けのイベントの充実、高齢者の孤立感を減らすことにつながる「居場所」づくりに努め、図書館の充実を図る。

堂下

トイレ問題の解決は、災害関連死を防止することにもつながる。

町民への備蓄の呼びかけと幹旋等も必要かと思うが、対応を聞く。

環境安全課長

トイレカーの整備や備蓄数の見直し、協定先との連携強化、新規協定の締結に取り組んでいる。

町民へは、備蓄の必要性について丁寧な呼びかけと啓発を行っていく。

富来義務教育学校建設 保護者の不安解消を

説明会を開催し、意見を頂く

町長



動画はコチラから



こずえ まさみ 議員
梢 正美

梢 富来義務教育学校の整備は、住民参加が形式的にとどまり、意見反映の仕組みが機能していない。

基本計画前に共有されるべき「上位要件」(安全性・適地性・児童生徒数推計・将来の複式学級化・通学導線・生活実態等)が住民にも議会にも十分に示されていない点、保護者の深刻な不安の核心となっているが、町の認識と今後の方針を問う。

町長 令和4年度に「富来地域小中学校適正規模・適正配置検討委員会」を設け、富来地域の学校の在り方について検討し、令和5年度には委員会から小中一貫校として学校を開設することが望ましいとの答申をいただき、基本計画の基礎に反映している。

これまで保護者にはPTA総会で、町の取組や計画を説明し、施設の早期復旧や新しい学校づくりへの意見を聴取し回答している。

1月には富来小・中学校、保育所の年長児の保護者、教職員などを対象に説明会を開催し、幅広くご意見を集め、基本設計に反映し、3月頃に再度、説明会を開催し、頂いた意見への回答及び設計の中間報告を行う。

持続可能な 自治運営の推進を

「見える形での投資」を念頭に

町長

梢

今回、議員派遣により、茨城県境町と笠間市を視察する機会をいただいた。

今回の視察には職員も同行し、同じ景色を、同じ目線で見ることができ、町にとって大きな財産になったと思う。

この学びを、まちの未来を左右し得る知見として、政策形成につなげていくべきと考えるが、町の認識と具体策を聞く。

町長

現在、来年度の予算編成作業を進めている段階であり、地域の持続的な発展につながる施策、財源の循環性を意識した事業設計、そして、町民の皆様に分かりやすく成果を示せる「見える形での投資」といった観点を念頭において、施策立案に反映していきたい。



多くの学びがあった今回の視察

議員のひとこと
対話から未来へ
みなさんの暮らしの「ちよっと気になる」を、議会へ、まちの未来をつくる土台へ。

移住定住、小中一貫教育の先進地を調査

さかいまち かさまし
茨城県境町・笠間市を視察



ふるさと納税を活用し、建設された施設を見学(境町)

10/2・3

ふるさと納税、公共交通、移住定住施策、小中一貫教育、及び観光施設における官民連携について、先進事例を調査し、本町の实情と比較しながら研究を深め、今後の政策提言に活かすことを目的として、茨城県境町と笠間市への視察を行いました。

境町では「ふるさと納税、賑わい創出、移住定住施策」を、笠間市では「小人数教育と小中一貫教育」について、先進的な取り組みを学びました。



議員の視点(境町)

- 本町が目指すモデルケースになる。
- ふるさと納税などの自主財源を、積極的に地域施策へ還元する仕組みができています。
- 住みやすいまちづくりが広がることで町民の安心感が増し、移住者も増え、賑わいが増し、さらにさまざまな財源確保により新たな町民サービスができるという好循環を作り出していることは見習うべきと痛感した。



議員の視点(笠間市)

- 「地域資源を活かした民間との協働」「子ども一人ひとりに寄り添う少人数教育」は本町のまちづくり・ひとづくりの両面で応用可能な取り組みであると感じた。
- 学校の存在意義と魅力度アップの工夫が感じられた。

先進的な情報発信を調査 北海道 上富良野町・鷹栖町を視察

10/22・23

議会広報特別委員会

広報を通じた先進的な情報発信の方法を調査する目的で、北海道の上富良野町議会と鷹栖町議会を視察しました。

上富良野町議会は、第37回全国議会広報コンクールで奨励賞を受賞しており、全国の広報誌を徹底的に研究して大いに参考にするという熱心な取り組みを行っていました。「親しみやすくわかりやすい広報」を目指し、町民の方が多く登場することや、専門用語の解説、難しい言葉を避けるといった工夫を実践しています。

鷹栖町議会は、「興味をもてる・理解できる・参加できる」という活動方針のもと、さまざまな取り組みを進めています。議員一人ひとりが知恵を出し合いながら行う取り組みは、議員自身の自信につながり、「議会への関心が高まった」という成果を生んでいます。このことから、広報活動はもとより議会活動全体に対する強い熱意を感じました。

今回の視察は実り多く、広報戦略の具体例や議会活動への情熱を感じることができ、今後の活動に活かせる貴重な学びとなりました。



スミー色のシンプルさが際立つ、強いインパクトの表紙
(上富良野町)



議員全員で考えたユニークな取り組み
(鷹栖町)

住民参加訓練を視察

石川県原子力防災訓練



避難所で段ボールベッドや間仕切りテントを組み立てる参加者



陸上自衛隊の高機動車による住民避難



福祉車両による避難

令和7年11月24日、令和6年能登半島地震と同等の震度7を想定した石川県原子力防災訓練が実施されました。

住民が参加する形での実施は2年ぶりで、国・県・町をはじめとする関係機関から約1700人が訓練に参加しました。



議員の視点

- 先の震災を受けて大幅な見直しが行われたとは感じなかった。スムーズな避難ができるのか、「逃げない避難」を充実させる必要があるのでは。
- 避難実施時に道路寸断があった場合の避難手段の確保が不安。

しかトーク 2025



令和7年11月25日(火)、町内の中学生がこれまでの学びを活かし、まとめた魅力的な町づくりについてのアイデアを、町長・町議会議員に提案し、まちの未来について意見交換を行いました。

- 志賀中学校3年1組 林 栞帆、藤本 秋穂
「志賀町の医療機関の現状と改善案」
- 志賀中学校3年2組 泉 琉那、濱野 花珠
「志賀中学校のネット環境の改善について」
- 志賀中学校3年3組 瀧川 ひなた、正木 奏多
「施設運用の現状に関する提案」
- 富来中学校3年1組 関口 愛季夏、長根尾 理玖
「検定類の補助の拡大と広報での記載について」



発表後、議長および町長からそれぞれ感想が述べられました。生徒たちは真剣な眼差しで耳を傾け、深くうなずく姿が印象的でした。



新しい年を迎え、今回は町内の事業者の皆様にご登場いただきました。

令和6年能登半島地震からの復興・再建を目指す状況の中、皆様が事業の発展に向け、どのような意気込みや抱負をお持ちなのか、お聞きしました。

聞かせてください！ あなたの声

【飲食業 50代女性】

地震後、食を通じて人が集い笑顔を作りたいとの思いで開業しました。

新年も真心溢れる接客で地域を元気にしたいです。



【飲食業 50代男性】

町内の皆様が安心してきていただける店舗・店主をところがけたい。



【70代男性】

震災から3年目を迎え、人口流出や観光客の戻りの遅れなど、依然として厳しい環境が続くことが予想されます。

しかし、こうした状況だからこそ、弊社では被災地以外の地域にも積極的に打って出る“攻めの姿勢”を大切に、社員一丸となって事業の発展と再建に取り組んで行こうと思っています。



【建設業 60代男性】

自分が復旧や復興にたずさわる一員として、事業を通じて志賀町を盛り上げていきたいです。



【建設業 70代男性】

震災から2年が経ちましたが人手不足でなかなか工事が進みません。1日でも早く、被災者が今までの生活に戻れるよう、努力しています。



【飲食業 60代男性】

令和6年、新たな年を迎え、新出発との思いでしたが、震災により希望を失いかけ、先が見えない状況でした。しかし、志賀町・富来を第2の故郷との思いで再建を決意。2年が過ぎ、住宅・店舗を新築。

これよりは、地域の皆様に感謝しつつ、真心のサービスを提供して参ります。



【飲食業 30代男性】

店舗のいち早い再建と新しい販路開拓。個人的には料理人としてスキルアップし、商品価値を高めたい。



【60代男性】

2026年、行政も経済界もいろいろ煩雑なことはあろうけれども穏やかな一年となりますことを望みます。



今回は、 応援職員として赴任されている 土屋尾 伸太郎 さん にお話しをお聞きしました。

お聞きしました 志賀町のこころ
**しかまち
LIFE**



**出身はどちらですか。
志賀町での業務内容を教えてください。**

鳥取県出身で、令和6年4月に志賀町に赴任しました。当初は単身でこちらに来ましたが、昨年4月から、妻と子ども3人も志賀町で暮らしています。

町では農林水産課に所属し、主に農地や農業用施設の災害復旧事業を担当しています。

志賀町の印象はいかがでしたか。

こちらへ来たのは被災から3か月ほど経つ頃でしたが、すごく優しく親切にしてくださる方がたくさんいて、「能登はやさしさ、土までも」という言葉を改めて実感しました。

想像していたより小さな町でしたが、実際住んでみるとコンパクトにまとまっていて、非常に住みやすいという印象を受けました。

志賀町でお気に入りの場所はありますか。

私と妻はランニングを趣味にしていますが、千鳥ヶ浜海岸に夕日が沈む時間帯に近くを走るのが、お気に入りのコースです。夕日がすごくきれいに見えます。

機具岩や尊保地区の百本桜もお気に入りスポットです。

ご家族での志賀町の暮らしはいかがですか。

住み慣れたところを離れることには、心配もありましたが、子ども達には、違う場所での生活を体験させることが、成長の良い機会になるという思いがありました。

外へ出て初めて、それまで当たり前だと思っていたことが当たり前ではないと気づく、その経験をさせてあげたかったんです。

今は友達もたくさんできて、非常に楽しく学校生活を送っています。子どもは適応能力が高くて、言葉のイントネーションも変わってきました。家族みんながいつの間にか志賀町の言葉に馴染んだようで、正月に帰省したときに、祖母がその変化にびっくりしていました。



志賀町での暮らしを通じて、家族みんなの防災意識が高まりました。

志賀町民へメッセージを。

ようやく、少しずつですが、工事が進んできました。農家の方には引き続きご不便をおかけしますが、できる限り、前に進むように頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。



編集後記

能登半島地震から2年が経ちました。振り返ると、役場・消防署・消防団やボランティアの方にお世話になり、安心・安全を守っていただいていることに頭が下がります。全国の自治体でもさまざまな災害が多発しているため、それぞれ対策を検討していることと思います。志賀町においても、災害が発生後は人口が減少し、ますます少子高齢化が進む中で、町全体で対策を考えながら避難所計画を早急に進めていただき、各種団体との連携を図って、自然災害に強く、安心・安全で人情味のある町に向けて取り組んでいかなければならないと強く感じました。(櫻井 俊一)

議会へのご質問、「ぎかいのひろば」についてのご感想・ご意見などありましたら、ホームページの入力フォームをご利用下さい。



お知らせ

3月定例会本会議の日程(予定)です。傍聴に来ませんか。

※本会議はケーブルテレビでも視聴できます。(生放送・録画放送)

3/3 (火)	本会議 14:00	議案の上げ (町長が町の近況や議案説明をします。)
3/10 (火)	本会議 10:00	一般質問 (議員が町政について質問をします。)
3/19 (木)	本会議 14:00	議案の採決 (議案の可否について決定をします。)

発行責任者		議長
福田 晃悦		
議会広報特別委員会		
委員長	表谷 茂浩	
副委員長	南 正紀	
委員	寺井 俊一	
委員	富澤 康	
委員	櫻井 俊一	